

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 26 日 (2009.2.26)

【公表番号】特表 2008-526398 (P2008-526398A)

【公表日】平成 20 年 7 月 24 日 (2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報 2008-029

【出願番号】特願 2007-550652 (P2007-550652)

【国際特許分類】

A 6 1 L 9/12 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

A 6 1 L 9/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/12

A 0 1 M 1/20 E

A 6 1 L 9/03

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 5 日 (2009.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 3 種の揮発性液体のうちの 1 種を大気中に供給するように適合された装置であって、大気中に個々の液体を運ぶ空気流の源 (2) を含み、

(a) 空気流の源がファンまたはインペラーであり；

(b) ファンまたはインペラーから半径方向に延びる、揮発性液体の数に対応する、ファンまたはインペラーの回転面と同一平面上の複数の空気チャネル ((3) および (8)) であって、前記空気流がそれらを通して流れ、各チャネルが異なる揮発性液体放出部材 (9)、次いで大気中に至るように配置された、前記複数の同一平面上の空気チャネルを有し；

(c) 各チャネルにおいて、前記源と前記揮発性液体放出部材との間に位置し該チャネルを遮断してそれを通して空気の流れを防止する手段 (4) を含むことを特徴とする、前記装置。

【請求項 2】

遮断手段 (4) が電磁氣的に作動される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

装置中に用意されている少なくとも 3 種の揮発性液体から選択される少なくとも 1 種のそのような液体を、大気中に拡散させる方法であって、

空気流の源 (2) から、揮発性液体の数に対応する数の複数の空気チャネル ((3) および (8)) を通って空気流を通して空気を通過させることを含み、

(a) 空気流の源はファンまたはインペラーであり；

(b) 前記個々のチャネルは、相互に同一平面上にあり、かつ、ファンまたはインペラーの回転面と同一平面上にあり、それぞれのチャネルが、ファンまたはインペラーから半径方向に延びて、異なる揮発性液体放出部材 (9)、次いで大気中に至り、各チャネルは、前記源と前記揮発性液体放出部材との間で個別に遮断することができることを特徴とする、前記方法。